

# 平成26年度

## 内灘町外部評価委員会

### 評価結果

(評価対象事業)

- ①乳児及び児童医療費助成事業
- ②(介護特会)任意事業
- ③通学バス管理費
- ④心の教育推進事業

平成26年度実施(25年度事業)行政評価 外部評価結果票

No	事業名	H25決算	H26予算	内部評価			外部評価	
		(単位:千円)		1次評価	2次評価			
1	町民生活課	乳児及び児童医療費 助成事業	54,477	48,937	B	B	○ <small>次年度優先度</small>	B
	事業概要	乳児及び児童の疾病の早期発見と治療を促進し、保護者の経済的負担を軽減することにより、保健の向上と福祉の増進を図る。						
	内部評価 説明	申請期間の見直しや一部の年齢(7才～18才)の自己負担を設けたうえでの通院の対象年齢の拡大など、県内の市町の状況など参考にし、対象年齢の見直しを実施した。						
	外部評価 意見まとめ	<p>事務的な負担を減らすために、申請期間を5年から1年に短縮するのが望ましい。</p> <p>県の動向を見つつ、支給要件についての検討資料の作成、支給方法の拡充の検討も必要である。</p>						

平成26年度実施(25年度事業)行政評価 外部評価結果票

No	事業名	H25決算	H26予算	内部評価			外部評価	
		(単位:千円)		1次評価	2次評価			
2	福祉課	(介護特会)任意事業	3,459	5,815	B	B	○	B
	事業概要	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、要介護者等を現に介護している家庭等に対し、個々の状況に応じた必要な支援を行う。						
	内部評価説明	要介護状態になる原因の20%以上が認知症であり、認知症になっても住み慣れた地域で、自分らしく尊厳ある生活を送れるよう、認知症高齢者見守り訓練等を通して、地域における高齢者の見守りネットワーク構築を推進していくことが必要である。						
	外部評価意見まとめ	家族介護支援事業については、在宅介護の現状を把握し、支給要件を見直すことに加え、支給方法等の見直しの検討が必要である。 それぞれの事業でニーズを把握し、利用促進につながる工夫をすべきである。						

平成26年度実施(25年度事業)行政評価 外部評価結果票

No	事業名	H25決算	H26予算	内部評価			外部評価
		(単位:千円)		1次評価	2次評価		
3	学校教育課 通学バス管理費	16,683	19,950	C	B	○ <small>次年度優先度</small>	B
	事業概要	学校まで遠距離となる地域の児童・生徒の通学にスクールバスを運行し、児童・生徒の利便性を図るとともに、登下校の安全確保に努める。					
	内部評価説明	目標の達成度は高く申し分ないが、財政的な負担が大きい。コミュニティバスとの連携について検討が必要。					
	外部評価意見まとめ	<p>事業自体の存続は必要である。</p> <p>費用対効果を考えると民間委託の契約内容等については改善すべきである。</p> <p>運行方法、受益者負担の導入に際しては、明確な根拠に基づく検討が求められる。</p>					

平成26年度実施(25年度事業)行政評価 外部評価結果票

No	事業名	H25決算	H26予算	内部評価			外部評価	
		(単位:千円)		1次評価	2次評価			
4	生涯学習課	心の教育推進事業	884	1,171	B	B	○	C
	事業概要	子どもたちが人間として調和のとれた成長を遂げることができる環境を創造していく。						
	内部評価説明	豊かな心を育む内灘町民会議の4つの委員会を中心に進めているが、内容の偏りや重複が見受けられるため、全体での内容の精査と組織の見直しが必要と考えられる。						
	外部評価意見まとめ	<p>本事業を継続するのであれば、「豊かな心を育む町民会議」の運営方法、方針の抜本的な見直しが必要である。</p> <p>その見直しに際しては、本事業が目指す「豊かな心を育む町民会議」について明確に定義した上で、その定義に沿った事業内容を同時に検討すべきである。</p>						